

「事業活動に伴う環境負荷及びその低減に向けた取組の状況」を表す情報・  
指標（オペレーション指標：OPI, Operational Performance Indicators）

事業活動全体における物質やエネルギー等のインプット、アウトプットを把握するマテリアルバランス\*の考え方にに基づき事業活動の環境負荷を捉えます。事業者が自らの事業活動において環境負荷の低減に向けて取り組んでいる方針、目標、計画、環境パフォーマンスの状況及びその実績等を中心に記載します。また、環境負荷削減の観点から、環境配慮の状況を明らかにしていくことが重要で、その内訳についても記載することが期待されます。また、製品・サービスのライフサイクルでの環境負荷低減等、事業活動の上流・下流部分での取組や実績についても記載することが望まれます。オペレーション指標として記載する項目は、以下の 10 項目です。

<p>(インプット)</p> <p>OP-1：総エネルギー投入量及びその低減対策</p> <p>OP-2：総物質投入量及びその低減対策</p> <p>OP-3：水資源投入量及びその低減対策</p> <p>(内部循環)</p> <p>OP-4：事業エリア内で循環的利用を行っている物質等</p> <p>(アウトプット)</p> <p>(製品)</p> <p>OP-5：総製品生産量又は総商品販売量</p> <p>(排出物・放出物)</p> <p>OP-6：温室効果ガスの排出量及びその低減対策</p> <p>OP-7：大気汚染、生活環境に係る負荷量及びその低減対策</p> <p>OP-8：化学物質の排出量、移動量及びその低減対策</p> <p>OP-9：廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策</p> <p>OP-10：総排水量等及びその低減対策</p>
---

